

## 来年「おかえり筋」解体始まる

白山市美川浜町は来年の県無形民俗文化財「おかえり祭り」に向け、20年ぶりに同町の台車を解体修理する。同町は来年、10年に1度巡ってくる「おかえり筋」に当たり、修理することを決めた。修理を請け負う北島

### 美川浜町

仏壇製作所（同市美川新町）の職人らが28日、同町の格納小屋で解体作業を始め、来年4月には美川仏壇の技を駆使した豪華な姿がよみがえる。

美川浜町の台車は約200年前に制作され、曳き手の前部分が真っすぐ

## 台車 20年ぶり大修理

になっているのが特徴。曳き手に縄を掛けずに前輪の心棒に縄を掛けて引くため、心棒への負担が大きく、木材がすり減っていた。

修理では前輪の心棒をケヤキ、後ろ心棒をヒノキで新しく作る。傷みが激しかった車輪部分は布を貼り、珪藻土を付けてから漆を塗る。布を貼ることで風雨や湿気に強くなり、耐久性が高まるという。

台車修繕委員会の松本隆委員長（78）は「台車は町の宝。大修理で、30、40年という長い年月を耐えられるものにしてほしい」と期待を寄せた。

ジョッパーやボランテイアガイドツアーを実施する案を示した。委員からは「白山などに焦点を絞って観光発信をすべきだ」などの声や金沢観光との連携を提案する意見も出された。

### 新病院建設へ 署名活動申請 加賀の考える会

加賀市の住民有志でつくる「新病院建設を考える会」の新田博代表は28日、市に対し、新病院建設の是非を問う住民投票実施に向けた署名活動の申請を行った。30日から1カ月間、活動を行う予定。住民投票の条例制定に



台車を解体する職人  
—白山市美川浜町